

計画期間 5か年  
2025 (令和7) 年度  
～2029 (令和11) 年度

# 大分県立図書館運営ビジョン2025 (最終案)



めざす姿 ▶ 全ての県民の生涯にわたる多様な学びを支える知の拠点  
～だれでも いつでも どこからでも～



基本方針 ▶ 専門性・多様性・広域性をコンセプトにサービスの構築・提供を行い県民の人生を豊かにする

## 専門性

### 知の拠点としての図書館

#### ▶ 県立ならではの資料収集・保存・提供の推進

- ・専門的・学術的資料の積極的収集
- ・郷土資料の網羅的収集・保存と利活用の促進
- ・保存資料・書架配分の見直し

#### ▶ 読書環境におけるDXの推進

- ・図書館システム更新等によるWebサービスの強化【新】
- ・デジタルアーカイブの充実及び利用促進【新】
- ・専門書を中心とした電子書籍サービスの充実
- ・情報発信の充実

### 仕事や暮らしに役立つ図書館

#### ▶ 県民の調査研究・課題解決の支援

- ・レファレンスサービスの充実
- ・幅広い世代を対象にした学習機会の充実
- ・行政や民間団体等との効果的な連携による講座等の実施
- ・研修の充実による司書の資質向上【新】

## 多様性

### 県民の生涯にわたる多様な学びを支える図書館

#### ▶ 多様な県民が利用できるサービスの充実

- ・利用しやすく安全な施設設備の充実【新】
- ・非来館型サービスの充実
- ・障がい等により図書館を利用できない人に対する図書館サービスの充実
- ・バリアフリー資料等、アクセスしやすい資料の充実
- ・「やさしい日本語」の利活用

#### ▶ 子どもが本に親しむ機会の充実

- ・子育て関連イベント等とおした家庭の読書活動支援
- ・不登校などの様々な環境にある児童・生徒への支援
- ・図書館・団体への支援をおした子どもの読書環境の整備
- ・子どもの読書活動を支える人材の育成
- ・学校、団体等の図書館利用の促進



## 広域性

### ネットワークの中核としての図書館

#### ▶ 県内図書館及び関係者への支援と連携

- ・研修の充実による図書館関係職員の資質向上【新】
- ・県内図書館等の連携・協力体制の構築
- ・市町村立図書館への支援と連携
- ・学校図書館への支援と連携
- ・様々な団体への支援と連携

### 社会教育センターとしての機能を発揮する図書館

#### ▶ 社会教育の推進による多様な学びを支える環境づくり

- ・研修の充実による社会教育及び地域づくり関係者等の資質向上【新】
- ・市町村・社会教育関係団体等への指導・助言及び支援
- ・社会教育に関する調査研究の実施【新】
- ・様々な生涯学習情報の収集と県民へ向けた発信強化
- ・地域で活動する人々の読書活動への接続【新】

「大分県立図書館運営ビジョン2025」策定の背景～県の計画などにおける図書館関連の記述～

大分県長期総合計画

安心3 すべてのこどもが健やかに生まれ育つ温かい社会づくり

- (3)こどもまんなかまちづくりの推進
- ②子育てしやすい周辺環境の整備

■魅力向上に向けた環境整備の推進

安心5 障がい者が心豊かに暮らし働ける社会づくり

- (2)障がい者が安心して暮らせる地域生活の支援
- ④社会活動への参画促進

■電子書籍や大活字本、録音図書等のアクセスしやすい書籍の提供

未来創造5 変化の激しい社会を生き抜く力と意欲を育む「教育県大分」の創造

- (1)学びを保障し、可能性を引き出す学校教育の推進
- ②豊かな心の育成

■学校や家庭での読書活動、図書館の利活用促進

- (6)共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進

- ①生涯学び、活躍できる環境の整備

■地域の学習拠点としての機能強化

■「まなびの広場おおいた」等を活用した情報発信の強化

【計画期間：令和6年度～15年度】

大分県長期教育計画(案)

基本目標1 学びを保障し、可能性を引き出す学校教育の推進

- (3)健やかな体の育成
- ④読書活動・体験活動の充実

■公立図書館等との連携による学校図書館環境の充実

■電子書籍等デジタル社会に対応した読書環境の整備や学校・家庭・地域との協働による読み聞かせ体験等子どもが本に親しむ機会の充実

基本目標5 共に学び支え合う社会の実現に向けた教育の推進

- (1)生涯学び、活躍できる環境の整備

- ①多様なニーズに対応した学習機会の提供

■県民の学習ニーズや現代的・社会的課題に対応した学習機会の提供

■高齢者や障がい者の学習機会の提供

- ②多様な学びを支える環境づくりの推進

■県民ニーズを踏まえた、多様な学びを支える公民館・図書館等社会教育施設の機能強化

■「まなびの広場おおいた」を活用した学習情報の発信強化

■「おおいたデジタル資料室」の活用促進

【計画期間：令和7年度～15年度】

第2期大分県障がい者計画

第6節 生涯にわたり生きがいを持って活躍できる社会づくり

- 5 読書環境の整備（視覚障害者等の読書環境の整備に関する計画）  
（施策の方向性）

■視覚障害者等が利用しやすい書籍等の充実

■インターネット等を活用した図書館サービスの充実

■施設、設備のバリアフリー化

■障がい者サービスに係る人材育成、体制整備

【計画期間：令和6年度～11年度】

第5次  
大分県子ども読書推進計画

(目標)

I 生きる力を育む読書習慣の形成

II 全ての子どもがいつでもどこでも読書に親しめる環境の整備

(重点方針)

■ 1 発達段階に応じた読書習慣形成のための人材育成・環境整備

■ 2 多様な子どもたちの読書機会の確保

■ 3 保護者等に対する普及啓発活動の推進

■ 4 子どもの読書意欲を引き出す取組の充実

■ 5 デジタル社会に対応した読書環境の整備とリテラシーの向上

【計画期間：令和7年度～11年度】

大分県立図書館運営ビジョン2025  
～全ての県民の生涯にわたる多様な学びを支える知の拠点～

## 基本方針及び令和7年度重点項目（案）

## 1 基本方針

大分県立図書館は、社会教育法、図書館法並びに本県教育の基本施策を踏まえ、全ての県民の生涯にわたる多様な学びを支える知の拠点を目指して、大分県公文書館、大分県立先哲史料館と一体となって、「だれでも、いつでも、どこからでも」利用できる社会教育施設としての機能を果たさなければならない。

I C Tの急速な進展などにより情報の取得方法が多様化する中、様々なニーズに応じた確かなサービスが提供できるよう「専門性」「多様性」「広域性」をコンセプトに、県内公共図書館・学校図書館、公民館のみならず、他の行政機関や民間団体とも連携を進めつつ、県民の人生を豊かにする図書館サービスの構築・提供を行う。

## 2 令和7年度重点項目

## 専門性

## （知の拠点としての図書館）

## 県立ならではの資料収集・保存・提供の推進

- ・ 専門的・学術的資料の積極的収集
- ・ 郷土資料（デジタル資料を含む）の網羅的収集・保存と利活用の促進
- ・ 今後5年間の収蔵スペース確保のための保存資料・書架配分の見直しの促進

## 読書環境におけるDXの推進

- ・ 郷土資料のデジタル化の加速、県内関係機関との連携による[おおいたデジタル資料室]の充実・利用促進
- ・ ホームページ、SNS（Facebook、X、Instagram）による情報発信の強化
- ・ 利用者拡大に向けた電子書籍のコンテンツ拡充
- ・ 図書館システム更新に向けてWebサービス強化などの検討

## （仕事や暮らしに役立つ図書館）

## 県民の調査研究・課題解決の支援

- ・ 行政や民間団体等の多様な主体との効果的な連携による講座や企画展示、イベントの実施
- ・ 研修の充実（計画的な実施、外部研修の積極的な受講）による司書の資質向上

## 多様性

## （県民の生涯にわたる多様な学びを支える図書館）

## 多様な県民が利用できるサービスの充実

- ・ バリアフリー資料等、アクセスしやすい資料の充実や機器の貸出などの促進
- ・ 「バリアフリー図書セット」の貸出拡充による学校や市町村立図書館での読書バリアフリー図書常設に向けた支援

## 子どもが本に親しむ機会の充実

- ・ 「子ども読書支援センター」の利用促進による子どもの読書活動を支える人材の育成・支援
- ・ 不登校支援を行う機関や矯正施設等と連携した、様々な環境にある児童・生徒への読書活動支援
- ・ 多言語絵本等の資料提供による日本語を母語としない子どもへの読書活動支援
- ・ 手話のおはなし会・講習の開催など障がいを持つ子どもへの読書活動支援

## 広域性

## （ネットワークの中核としての図書館）

## 県内図書館及び関係者への支援と連携

- ・ 県内公共図書館の連携・協力体制の構築
- ・ 協力貸出の利用促進や専門性の高い研修の開催などによる学校図書館への支援

## （社会教育センターとしての機能を発揮する図書館）

## 社会教育の推進による多様な学びを支える環境づくり

- ・ 公民館等における「やさしい日本語」講座未実施市町村への重点的な啓発と講座実施
- ・ 社会教育や地域づくり関係者を対象とした研修の体系化
- ・ 大学等と連携した社会教育に関する専門的・実践的な調査研究の実施
- ・ 生涯学習情報のプラットフォームとしての「まなびの広場おおいた」の内容充実

## 令和6年度重点目標に係る活動報告

| ①重点目標  | ②項目   | ③実績  | ④成果   |
|--|---|--|---|
| D<br>X<br>の<br>推<br>進<br>に<br>よ<br>る<br>非<br>来<br>館<br>型<br>サ<br>ー<br>ビ<br>ス<br>・<br>情<br>報<br>発<br>信<br>の<br>充<br>実 | 郷土資料のデジタル化の加速、県内関係機関との連携によるデジタルアーカイブ（おおいたデジタル資料室）の充実・利用促進 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○郷土資料のデジタル化               <ul style="list-style-type: none"> <li>・図書資料等 2856点</li> <li>・視聴覚資料等 48点</li> </ul> </li> <li>○おおいたデジタル資料室へのデータ登録・インターネット公開               <ul style="list-style-type: none"> <li>・当館資料 約800点</li> <li>・竹田市資料 1点</li> <li>・大分県発行デジタル資料 4点</li> </ul> </li> <li>○ジャパンサーチへのデータ登録(11/27)</li> <li>○おおいたデジタル資料室学習会の開催 3回</li> <li>○3館合同企画展及びウェブギャラリーの開催(2/8～3/23)</li> <li>○おおいたデジタル資料室・電子書籍の広報 57件</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○おおいたデジタル資料室アクセス件数 6179件</li> <li>○おおいたデジタル資料室学習会(参加者169人)               <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1回(6/23)(参加者23人)</li> <li>・第2回(1/10・11・18・22)(参加者96人)</li> <li>・第3回(2/11)(参加者26人)</li> </ul> </li> <li>・Wikipediaタウン(8/4・5)(参加者24人)</li> </ul>   |
|  | 専門書を中心とした電子書籍サービスの充実                                      | ○579タイトル購入(内、オーディオブック53タイトル)   | ○電子書籍総計2190タイトル<br>バリアフリー電子書籍が充実された。  |
|  | 図書館サービスの電子申請の対象拡大、利用促進                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ミーティングルーム利用に係る電子申請を導入(10/1～)</li> <li>○電子による資料利用券申込(仮登録、再発行、パスワード申込、情報変更、更新) 392件</li> <li>○予約件数 電子10,847件・紙1,122件</li> <li>リクエスト件数 電子105件・紙197件</li> <li>○郵送複写、障がい者向け宅配貸出利用 電子申請受付</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○非来館型サービスが利用しやすくなった。</li> <li>○ミーティングルーム利用の受付手続きに要する時間の短縮になった。</li> <li>○電子申請の件数が増加した。</li> </ul>  |
|  | ホームページ・SNS等による情報発信の強化                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>○SNSによる積極的な各イベントや館内施設利用案内などの実施</li> <li>○SNSによる情報発信強化のため、ホームページのトップページに、X(エックス)とInstagram(インスタグラム)のバナーを追加</li> <li>○子ども向け、ティーンズ向け、子育て世代向けの本の紹介やイベントの情報などをSNSで発信</li> <li>○イベント情報を大分県福祉保健部こども未来課の「子育てのタネ」やSNS、母子モ(母子手帳アプリ)で発信</li> <li>○「司書のおすすめ30冊」1/30～2/28までSNSに毎日1冊司書のおすすめ本を投稿。あわせておすすめ本のある県立図書館のコーナーを紹介[再掲]</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○イベントや企画展の開催案内を幅広くかつ適時に行うことができた。</li> <li>○新しい利用者層にPRできた。</li> <li>○情報発信の強化等により以下から取材あり               <ul style="list-style-type: none"> <li>・NHK大分…2回</li> <li>・「シティ情報おおいた」</li> <li>・「Neco・press」(大分市/大分エコライフプラザ機関紙)</li> <li>・「子育てのタネ」(大分県/大分県子育て支援ポータルサイト)</li> </ul> </li> </ul>  |
|  | 豊の国情報ライブラリー開館30周年記念事業を通じたPR強化                             | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ウィキペディアタウン@豊の国情報ライブラリーの開催</li> <li>○おおいたデジタル資料室学習会の開催[再掲]</li> <li>○3館合同企画展の開催[再掲]</li> <li>○スタンプラリーの実施(2/8～3/23)</li> <li>○記念式典・講演会(2/22)               <ul style="list-style-type: none"> <li>講師: 冲方丁(作家)</li> <li>演題: デジタル時代を生きるための物語</li> </ul> </li> </ul>  | ○通年で記念行事を実施し利用者の拡大を図るとともに、ハイブリッド形式での講演やiPad等を使用した講座を実施するなど、事業におけるデジタル技術の活用を図りそのknow-howを得た。   |
| 多<br>様<br>な<br>利<br>用<br>者<br>の<br>読<br>書<br>活<br>動<br>の<br>推<br>進   | 障がい等により図書館を利用できない人に対する図書館サービスの充実                          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○手話のおはなし会(5回)               <ul style="list-style-type: none"> <li>大分県聴覚障害者協会と連携</li> </ul> </li> <li>○出張おはなし会(1回)               <ul style="list-style-type: none"> <li>会場: 大分県立董学校</li> <li>対象: 聴覚に障がいのある小学生</li> </ul> </li> <li>○ダウンロードデジデータを格納した携帯型図書再生機(ポケブック)の貸出を開始</li> <li>○大分県点字図書館と共催でバリアフリー読書体験会を実施(1/12)</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○【手話のおはなし会】今年度から本格実施               <ul style="list-style-type: none"> <li>参加者: 156人(子ども58人、大人98人)</li> </ul> </li> <li>NHK大分の取材が2回あり[再掲]</li> <li>県下に波及               <ul style="list-style-type: none"> <li>大分市民図書館: 2回実施</li> <li>佐伯市で検討中(大分県聴覚障害者協会からの情報)</li> </ul> </li> <li>○再生機を持っていない人にも録音図書を提供できるようになった。</li> <li>○様々なバリアフリー図書、機器、サービスを周知する機会となっている。(参加者21人)</li> </ul> |
|  | 大活字本、朗読CD、オーディオブック等、バリアフリー資料の充実                           | <ul style="list-style-type: none"> <li>○一般資料として大活字本280冊購入</li> <li>○年度内に朗読CDを202タイトル購入予定</li> <li>○児童資料としてバリアフリー資料を31冊収集</li> <li>○子ども室で布絵本の館外貸出を5月に開始</li> </ul>  |   |
|  | 「やさしい日本語」等を活用した館内サービスの充実                                  | ○大分県立図書館のホームページ内に「やさしい日本語で書かれた利用案内」ページを掲載  |   |

令和6年度重点目標に係る活動報告

| ①重点目標         | ②項目  | ③実績   | ④成果   |
|---------------|--|---|---|
| 子どもの読書活動の推進   | 子育て関連イベント（おはなし会等）を活用した家庭での読書活動支援                           | おはなし会(30回)<br>小学生のためのおはなし会(11回)<br>あかちゃんのためのおはなし会(10回)<br>1歳からのおはなし会(8回)<br>季節のおはなし会(2回)<br>ちっちゃなおはなし会(5回)<br>夏のゆうぐれこわ〜いおはなし会(8/7)<br>外国語のおはなし会(3回)<br>手話のおはなし会(5回)<br>めざせ！図書館王(7/20～9/1)<br>おはなしすごろく(11/3)<br>読み聞かせひろば(40回)<br>開館30周年記念「スタンブラリー」(2/8～3/23)[再掲] | おはなし会(参加者669人)<br>小学生のためのおはなし会(参加者228人)<br>あかちゃんのためのおはなし会(参加者228人)<br>1歳からのおはなし会(参加者67人)<br>季節のおはなし会(参加者82人)<br>ちっちゃなおはなし会(参加者13人)<br>夏のゆうぐれこわ〜いおはなし会(参加者32人)<br>外国語のおはなし会(参加者77人)<br>手話のおはなし会(参加者156人)<br>めざせ！図書館王(参加者662人)<br>おはなしすごろく(参加者87人)<br>読み聞かせひろば(参加者272人)<br>開館30周年記念「スタンブラリー」(参加者140人) |
|               | 多言語絵本等の資料提供による子どもの読書活動支援                                   | ○外国語資料の収集<br>英語29冊、ポルトガル語26冊<br>スペイン語24冊、中国語10冊<br>インドネシア語2冊、韓国語1冊<br>ベトナム語1冊<br>○外国語のおはなし会(3回)[再掲]   | ○子ども室外国語資料(書庫を除く)<br>所蔵冊数 1285冊<br>英語以外 約400冊<br><br>○外国語のおはなし会(参加者77人)   |
|               | 学校・団体活動支援プログラムの利用の促進                                       | ○団体(学校19校 団体10団体)利用   | ○図書館見学のほか、おはなし会やバリアフリー図書の紹介など、各団体の要望に応じた柔軟な対応をすることで、充実した活動を提供した。  |
|               | 不登校などの様々な環境にある児童・生徒への支援                                    | ○ボランの広場(教育センター)図書館活動<br>通級生の数が流動的であったため、館内での活動は未実施。団体貸出により資料を提供。<br>○四季報及び学校・団体活動プログラム等のチラシを配布  | ○放課後等サービスの学校・団体活動支援プログラムを利用(6団体)や、関係施設への継続的な資料の提供により、読書機会の充実に支援した。  |
| 資料収集・保存・提供の推進 | 専門的・学術的資料の積極的収集及び郷土資料(行政資料、デジタル資料含む)の網羅的収集・保存・提供           | ○郷土資料を網羅的に収集<br>購入310冊、寄贈2,404冊<br>○大分新聞のDVDを購入<br>○郷土資料の収集・受入<br>・購入資料 327点<br>・過去の寄贈資料 99点<br>・大分県発行デジタル化資料 4点  | ○新刊だけでなく、寄贈の古い資料も積極的に受入し、未所蔵の郷土資料の収集につなげた。<br>○欠号の補充ができた。   |
|               | 郷土資料のデジタル化の加速、県内関係機関との連携によるデジタルアーカイブ(おおいたデジタル資料室)の利用促進(再掲) | -   | -   |
|               | 収蔵スペース確保のための保存資料・書架配分の見直し                                  | ○令和5年度の新書庫導入により書庫の配分を見直し、一般書庫資料(社会科学・自然科学・工学の約8万冊)、郷土書庫資料(約11万冊)を移動<br>○受入終了雑誌622タイトルの保存年限を見直し<br>○不用品図書を選定し、10505冊を除籍<br>○受入終了の児童用雑誌の廃棄について検討し、21誌の廃棄を決定   | ○今回の図書移動により、一般資料は約2年分、郷土資料は約10年分の収蔵能力が延命された。残存収蔵能力は4年(令和10年度飽和見込)だが、雑誌の保存年限変更と図書の除籍継続により令和18年頃までの延命を目指す。<br><br>○12誌(約1800冊)を廃棄し、書庫の空きスペースを拡大した。  |

令和6年度重点目標に係る活動報告

| ①重点目標                   | ②項目                                | ③実績  | ④成果   |
|-------------------------|------------------------------------|--|---|
| 県民地域の課題解決の支援、多様な学習機会の提供 | 司書の資質向上とレファレンスサービスの充実              | <ul style="list-style-type: none"> <li>○司書全員(※産休育休中除く)が希望する研修(視察)を受講</li> <li>○研修(視察)の成果を共有する館内司書研修を開催(3回)</li> <li>○昨年度末に開始したwebフォームからの相互貸借申込の利用が順調に伸びた。40件</li> <li>○商用データベースを見直し、法令データベースを入れ替えた。</li> <li>○調べものリンク集を更新</li> <li>○図書館司書基礎研修の実施</li> <li>○県立学校司書スキルアップ研修の実施</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○研修(視察)の還流報告により司書全体で成果を共有できた。県立学校に異動した司書も参加したことで情報交換などの交流ももつことができた。</li> <li>○相互貸借の申込のための来館が不要となり、利便性が向上した。</li> <li>○データベースの入替により利用が伸びた。</li> <li>○利用者自身での調べものを支援した。</li> <li>○図書館司書基礎研修(参加者13人)</li> <li>○県立学校司書スキルアップ研修(当日参加者28人 動画視聴者14人)</li> </ul>   |
|                         | 行政や民間団体等との効果的な連携(企画展示、相談会、セミナー)    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○企画展示<br/>環境月間(大分市)<br/>ザ・キャビンカンパニー(大分県立美術館)<br/>水(大分県土木建築部河川課)</li> <li>○手話のおはなし会(大分県聴覚障害者協会)</li> <li>○外国語のおはなし会<br/>(大分県企画振興部国際政策課)</li> <li>○ミニ絵本講座講師(大分県社会教育課事業)</li> <li>○認定絵本士養成講座講師<br/>(別府大学短期大学部初等教育課)</li> <li>○出張おはなし会(大分県立聾学校)</li> <li>○県機関や団体(法テラス、看護協会等)と連携し、相談会、展示等を開催した。<br/>連携先: 15団体<br/>内容: 相談会17回、体験会1回、パネル展8回、資料展示11回<br/>経営無料相談会(計7回)<br/>1日まちの保健室(計2回)<br/>公証人による無料相談会(計3回)<br/>法律無料相談会<br/>法テラス大分出張情報サービス(計4回)<br/>バリアフリー読書体験会[再掲]</li> <li>○郷土資料企画展示<br/>・おおいの空(そら)と宙(そら)1/7~4/6 連携先: 国東高校(県教育委員会)、県交通政策企画課<br/>・大分のねこ・ネコ・猫 2/4~5/11 連携先: おおい動物愛護センター</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○連携の充実<br/>当館で実施(5件11回)<br/>外部で実施(3件4回)</li> <li>○県民に対して、様々な分野の情報提供の機会となっている。<br/>経営無料相談会(参加者 9組11人)<br/>1日まちの保健室(参加者のべ445人)<br/>公証人による無料相談会(参加者7組10人)<br/>法律無料相談会(参加者7人)<br/>法テラス大分出張情報サービス(参加者24人)<br/>バリアフリー読書体験会(参加者21人)</li> </ul>  |
|                         | 幅広い世代を対象にした公開講座・連携講座の充実            | <ul style="list-style-type: none"> <li>○公開講座の実施(計26回)<br/>読み聞かせ活動支援に関する講座 13回<br/>図書館活用に関する講座 5回<br/>図書館教養講座 8回</li> <li>○よろず支援セミナー・個別相談会の実施(計21回)<br/>放送大学公開講演会の実施(計3回)<br/>法律セミナーの実施(計3回)<br/>科学講演会の実施(計2回)<br/>子育て講演会の実施<br/>緩和ケアセミナーの実施</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもから高齢者まで、幅広い年齢層の方が参加(計594名参加)昨年度は計531名</li> <li>・パネルシアター講座 参加者110人</li> <li>・パネルシアターフォローアップ講座 参加者32人</li> <li>・ストーリーテリング入門講座 参加者37人</li> <li>・夏の自由研究お助け講座 参加者19人</li> <li>・日本茶講座 参加者14人</li> <li>・染色体験講座 参加者33人</li> <li>・紫式部日記を知っていますか 参加者84人</li> <li>・磯崎新の建築と思想 参加者116人</li> <li>・スマホ講座 参加者31人</li> <li>・電子書籍体験講座 参加者96人</li> <li>・雅楽を楽しむ 参加者139人</li> <li>○よろず支援セミナー・個別相談会 参加者103人</li> <li>放送大学公開講演会 参加者172人</li> <li>法律セミナー 参加者40人</li> <li>科学講演会 参加者67人</li> <li>子育て講演会 参加者160人</li> <li>緩和ケアセミナー 参加者5人</li> </ul>   |
|                         | 社会教育関係者研修の活性化と公民館等での「やさしい日本語」講座の普及 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○社会教育関係者研修<br/>・新任社会教育行政職員研修の実施<br/>・県市町村社会教育委員研修の実施<br/>・社会教育行政職員専門研修の実施(計2回)<br/>・社会教育主事専門研修の実施<br/>・社会教育関係職員等合同研修の実施<br/>・公民館関係職員研修の実施(計3回)</li> <li>○やさしい日本語講座<br/>(1)「やさしい日本語」講演会<br/>(2)「やさしい日本語」学習会<br/>(3)「やさしい日本語」交流会<br/>(4)「やさしい日本語」サポーター育成講座</li> <li>○多様な分野との協働による「やさしい日本語」の活用促進<br/>(1)由布高校<br/>(2)図書館流通センター(TRC)<br/>(3)法テラス大分<br/>(4)県社会福祉協議会</li> <li>○公民館での「やさしい日本語」を活用したモデルプログラムの提示と事業支援<br/>(1)大分市 種田公民館<br/>(2)臼杵市 中央公民館<br/>(3)佐伯市 佐伯公民館<br/>(4)豊後大野市 中央公民館</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○社会教育関係者研修<br/>・新任社会教育行政職員研修 参加者40人</li> <li>・県市町村社会教育委員研修 参加者82人</li> <li>・社会教育行政職員専門研修 参加者のべ30人</li> <li>・社会教育主事専門研修 参加者12人</li> <li>・社会教育関係職員等合同研修 参加者20人見込</li> <li>・公民館関係職員研修 参加者のべ160人</li> <li>○やさしい日本語講座<br/>(1)○竹田市(34人) ○豊後高田市(62人)<br/>(2)○杵築市(30人) ○豊後高田市(18人)<br/>(3)○杵築市(24人) ○豊後高田市(25人)<br/>(4)○日田市(3回実施 参加者のべ101人)</li> <li>○多様な分野との協働による「やさしい日本語」の活用促進<br/>(1)由布高校(2回 参加者のべ143人)<br/>(2)図書館流通センター(27人)<br/>(3)法テラス大分 (6人)<br/>(4)県社会福祉協議会 (32人)</li> <li>○公民館での「やさしい日本語」を活用したモデルプログラムの提示と事業支援<br/>(1)大分市 種田公民館(20人)<br/>(2)臼杵市 中央公民館(25人)<br/>(3)佐伯市 佐伯公民館(2回 参加者のべ25人)<br/>(4)豊後大野市 中央公民館(31人)</li> </ul> |

令和6年度重点目標に係る活動報告

| ①重点目標            | ②項目                                  | ③実績   | ④成果   |
|------------------|--------------------------------------|---|---|
|                  | 市町村・団体等への指導・助言及び支援（社会教育主事派遣の活用促進）    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○市町村支援</li> <li>・杵築市にて1回実施</li> <li>・大分市にて2回実施</li> <li>○団体支援</li> <li>・杵築市にて1回実施</li> <li>・宇佐市にて2回実施</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○市町村支援</li> <li>・社会教育計画の策定支援（杵築市）</li> <li>・公民館講座開講式講話（大分市明治公民館）</li> <li>・公民館講座講師（大分市植田公民館）</li> <li>○団体支援</li> <li>・婦人会人権研修講師（杵築市）</li> <li>・PTA役員研修講師 計2回（宇佐市）</li> </ul>             |
|                  | 「まなびの広場おおいた」による様々な生涯学習情報の提供          | <ul style="list-style-type: none"> <li>○「講座・教室の情報」「インターネット講座（動画での学習教材の配信）」「社会教育関係の研修」等生涯学習に関する情報を提供</li> </ul>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>○学習情報登録件数253件</li> <li>○「まなびの広場おおいた」へのアクセス件数</li> <li>サイト全体 63526件</li> <li>うち、インターネット講座 41813件</li> </ul>   |
| 市町村立図書館、学校図書館等支援 | 職員研修や図書館相互貸借等による市町村立図書館への支援の充実       | <ul style="list-style-type: none"> <li>○公立図書館等職員研修を年間6回実施</li> <li>○大分県図書館大会の実施</li> <li>○相互貸借による資料提供</li> <li>○市町村図書館等への司書等派遣、研修講師派遣</li> </ul>        | <ul style="list-style-type: none"> <li>○公立図書館等職員研修</li> <li>全6回、うち3回は動画配信も行い、全県的な関係職員の資質向上を図った。</li> <li>当日参加者134人 動画視聴者189人</li> <li>○大分県図書館大会</li> <li>当日参加者70人 動画視聴者134人</li> <li>○相互貸借</li> <li>○司書派遣1回、研修講師派遣3回</li> </ul> |
|                  | 災害対応などの様々なリスクを想定した県内公共図書館の連携・協力体制の構築 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○公共図書館等連絡協議会において、協力体制について確認</li> <li>○防災・減災をテーマにした研修の実施</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○県内公共図書館の災害対応に対する意識の向上</li> <li>○職員研修「災害時の図書館をイメージし対応や備えを考える減災ワークショップ—過去の被災図書館の実例から学ぶ—」</li> <li>当日参加者22人 動画視聴者80人</li> </ul>  |
|                  | 協力貸出等による学校図書館への支援と連携                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校図書館へ貸出</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○学校図書館の資料を補完する継続的な支援を行った。</li> </ul>   |
|                  | 団体貸出を活用した様々な団体への支援                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○様々な団体へ貸出</li> <li>○新規登録 14団体</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○小規模図書館、公民館図書室、文庫等の団体への継続的な利用の支援</li> <li>○フリースクール、放課後等デイサービスなどの団体への貸出</li> </ul>  |

「大分県立図書館の休館日及び開館時間等の見直し（案）」に対する県民意見募集について

令和 7 年 2 月 2 5 日  
大分県教育庁社会教育課

標記のことについて、下記のとおり県民意見の募集（パブリックコメント）を実施しますので、お知らせします。

## 記

### 1 趣旨

大分県立図書館では、ICTの急速な進展などにより情報の取得方法が多様化する中、様々なニーズに応じた確かなサービスが提供できるよう「専門性」、「多様性」及び「広域性」をコンセプトに、県内公立図書館・学校図書館、公民館のみならず、他の行政機関や民間団体とも連携を進めつつ、仕事や暮らし、また、地域社会の課題解決に役立つサービスを提供してきた。

ワークライフバランス推進の考え方が世の中で定着する中、今後の図書館運営を考えた場合、現状の職員体制でこれまで同様のサービスを維持し続けることが困難な状況になると見込まれることから、休館日及び開館時間を九州各県並みに見直すことを検討するにあたり、見直し案に対する県民からの意見を募集するもの。

### 2 計画の案等の公表資料

(1) 「大分県立図書館の休館日及び開館時間等の見直し（案）」について」

### 3 閲覧場所

- |                          |                      |
|--------------------------|----------------------|
| (1) 県庁ホームページ             | (2) 社会教育課（県庁舎別館 8 階） |
| (3) 大分県情報センター（県庁舎本館 1 階） | (4) 地区情報コーナー（11カ所）   |
| (5) 大分県立図書館（2階）          | (6) 大分県立図書館ホームページ    |

### 4 意見等の募集方法及び募集期間

#### (1) 募集方法

住所、氏名、電話番号を明記の上、下記①～④のいずれかの方法にて社会教育課に提出

①郵送      ②ファクシミリ      ③電子メール      ④電子申請システム

#### (2) 募集期間

令和 7 年 2 月 2 8 日（金曜日）から令和 7 年 3 月 2 7 日（木曜日）まで

※郵送による意見等の受付は、令和 7 年 3 月 2 7 日（木曜日）到着分まで

### 5 その他

#### (1) 提出された意見等の公表について

募集締切後、提出された意見を考慮して意思決定を行うとともに、県民の意見とそれに対する県の考え方等を整理して公表する。

#### 【問い合わせ先】

生涯学習・社会教育推進班 段上  
電話：097-506-5556

## 大分県立図書館の休館日及び開館時間等の見直し（案）について

### 1 見直しの経緯

大分県立図書館（以下「県立図書館」という。）では、ICTの急速な進展などにより情報の取得方法が多様化する中、様々なニーズに応じた的確なサービスが提供できるよう「専門性」、「多様性」及び「広域性」をコンセプトに、県内公立図書館・学校図書館、公民館のみならず、他の行政機関や民間団体とも連携を進めつつ、仕事や暮らし、また、地域社会の課題解決に役立つサービスを提供してまいりました。

しかしながら、ワークライフバランス推進の考え方が世の中で定着する中、今後の図書館運営を考えた場合、現状の職員体制でこれまで同様のサービスを維持し続けることが困難な状況になると見込まれることから、休館日及び開館時間を九州各県並みに見直そうと検討しているところです。

### 【九州各県立図書館の休館日・開館時間】

#### 1 休館日

| 県名   | 内容             | 毎週1日 | その他 | + 毎月1日 |
|------|----------------|------|-----|--------|
| 福岡県  | 毎週月曜<br>毎月末日   | ○    |     | ○      |
| 佐賀県  | 毎月最終水曜         |      | ○   |        |
| 長崎県  | 毎週月曜<br>毎月末日   | ○    |     | ○      |
| 熊本県  | 毎週火曜<br>毎月最終金曜 | ○    |     | ○      |
| 宮崎県  | 毎週月曜           | ○    |     |        |
| 鹿児島県 | 毎週月曜<br>毎月25日  | ○    |     | ○      |
| 沖縄県  | 毎週火曜           | ○    |     |        |
| 大分県  | 第1・3・5月曜       |      | ○   |        |
| 計    |                | 6    | 2   | 4      |

#### 2 開館時間

| 県名   | 曜日   | 開館時間        | 平日の閉館時間 |        |        |
|------|------|-------------|---------|--------|--------|
|      |      |             | ～19:00  | ～20:00 | ～21:00 |
| 福岡県  | 平日・土 | 9:00～19:00  | ○       |        |        |
|      | 日    | 9:00～17:00  |         |        |        |
| 佐賀県  |      | 9:00～20:00  |         | ○      |        |
| 長崎県  | 平日   | 10:00～20:00 |         | ○      |        |
|      | 土・日  | 10:00～18:00 |         |        |        |
| 熊本県  | 平日   | 9:30～19:00  | ○       |        |        |
|      | 土・日  | 9:30～17:15  |         |        |        |
| 宮崎県  |      | 9:00～19:00  | ○       |        |        |
| 鹿児島県 | 平日・土 | 9:00～21:00  |         |        | ○      |
|      | 日    | 9:00～17:00  |         |        |        |
| 沖縄県  |      | 9:00～20:00  |         | ○      |        |
| 大分県  | 平日   | 9:00～20:00  |         | ○      |        |
|      | 土・日  | 9:00～17:00  |         |        |        |
| 計    |      |             | 3       | 4      | 1      |

### 2 県立図書館の現状・課題

- (1) 曜日、時間ごとの利用者数を比較した場合、月曜日と平日19時以降が最も少ないです。
- (2) 年末年始を除き土日祝日、平日の20時までは交代制勤務により運営していますが、職員自身や家族に急な病気が発生した場合は他の職員が代替する必要があるなど職員の身体的負担が大きく、また、生活リズムの維持が難しい状況があります。

(3) 大分市居住者を除く利用者は、県立図書館で借りた本を最寄りの公立図書館でも返却できますが、大分市居住の利用者は県立図書館へ直接返却するのみとなっています。

### 3 今回の見直し内容

- (1) 定期休館日を毎週月曜日にします。  
(月曜日が休日の場合はその日後直近の休日でない日)
- (2) 平日の開館時間を1時間短縮します。
- (3) 大分市居住の利用者も県立図書館の本を大分市民図書館等で返却できるよう大分市と協議を進めます。

#### 【現 行】

|      | 平日        | 土・日・祝  |
|------|-----------|--------|
| 開館時間 | 9時～20時    | 9時～17時 |
| 休館日  | 第1・3・5月曜日 |        |



#### 【見直し後】

|      | 平日             | 土・日・祝  |
|------|----------------|--------|
| 開館時間 | 9時～ <u>19時</u> | 9時～17時 |
| 休館日  | 月曜日            |        |